



## 第 29 回総会での議決事項

第 29 回日本脳神経超音波学会総会が 2010 年 7 月 9-10 日に、川崎医科大学 脳卒中医学教室 教授 木村和美会長のもとで開催されました。

以下は、この総会におけるおもな決議・承認事項です。

### 役員候補選出委員会

#### **【役員改選について】**

#### 次々々期(2013 年)第 32 回日本脳神経超音波学会会長の承認

高瀬 憲作 理事

徳島県立中央病院 脳神経外科

#### 新名誉会員(2011.1～)の承認 (50 音順)※就任時に65歳を超える理事

藤本 司 先生

昭和大学藤が丘病院 脳神経外科

古幡 博 先生

東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター

森竹浩三 先生

島根医科大学 脳神経外科学

#### 新理事(2011.1～)の承認 (50 音順)

岡田 靖 先生

国立病院機構 九州医療センター 総括診療部長

寺山 靖夫 先生

岩手医科大学 神経内科 教授

藤代 健太郎 先生

東邦大学医学部 医学科 教育開発室 教授

#### 現理事再任 承認 (理事 23 名)

伊関 洋	重森 稔	橋本 卓雄
市橋 光	高瀬 憲作	秦 利之
内山 真一郎	立花 克郎	榛沢 和彦
川口 正一郎	寺崎 修司	松本 昌泰
小川 彰	豊田 章宏	峰松 一夫
北川 一夫	永井 秀政	矢坂 正弘
木村 和美	永田 泉	吉峰 俊樹
塩貝 敏之	長束 一行	



**新評議員(2011.1～)の承認 (50音順)**

- 卜部 貴夫 先生  
順天堂大学脳神経内科 准教授
- 岡田 陽子 先生  
愛媛大学大学院 医学系研究科 加齢制御内科学
- 竹川 英宏 先生  
獨協医科大学神経内科 講師・脳卒中部門長
- 立石 洋平 先生  
長崎大学病院 救急部 助教
- 玉川 紀之 先生  
秋田県立脳血管研究センター
- 寺澤 由佳 先生  
徳島大学神経内科 助教
- 濱口 浩敏 先生  
神戸大学医学部附属病院神経内科SCU 特命講師
- 松本 典子 先生  
川崎医科大学 脳卒中医学 講師

**現評議員再任の承認(評議員64名)※1名休会中含む**

阿川昌仁	岡田芳和	杉原 浩	成川弘治	細見直永
井口保之	梶 龍兒	杉森 宏	橋本信夫	堀 智勝
池田智明	梶原浩司	鈴木ひろみ	橋本洋一郎	牧野雅弘
板倉徹	加藤祥一	鈴木倫保	長谷川泰弘	安井信之
伊藤泰司	栗栖 薫	高家幹夫	林 隆	谷野定之
稲垣隆介	黒田清司	堤 由紀子	半田伸夫	山上 宏
植田敏浩	郡山達男	土居 浩	東壮太郎	山下晃平
恵谷秀紀	古賀政利	富田泰彦	兵頭明夫	山田和雄
大槻秀夫	古平国泰	豊田一則	平野照之	山野 繁
大西丘倫	斎藤こずえ	中川正法	広畑 優	山村 修
大庭英樹	坂口 学	永野恵子	藤本 茂	湧川佳幸
小笠原邦昭	佐々木一裕	永廣信治	古井英介	和田邦泰
緒方利安	佐藤 洋	中村 貢	寶學英隆	



## 役員候補選出委員会の委員(2011.1～)新任・再任の承認

役員候補選出委員会の構成

現会長	永田 泉 理事	(長崎大学医歯薬学総合研究科 病態解析・制御学)
前会長	木村 和美理事	(川崎医科大学 脳卒中医学教室)
次期会長	市橋 光 理事	(自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科)
編集委員長	高瀬 憲作理事	(徳島県立中央病院 脳神経外科)
1.	寺山 靖夫理事(新)	(岩手医科大学 神経内科)
2.	立花 克郎理事	(福岡大学医学部 解剖学教室)
3.	矢坂 正弘理事	(国立病院機構 九州医療センター 脳血管内科)

## 新会計監査(2011.1～)の承認 ※ 2年(1期のみ)

寺崎 修司 理事	熊本赤十字病院 神経内科
永井 秀政 理事	島根大学医学部 脳神経外科

## 新海外担当理事の承認

塩貝 敏之 理事	京都武田病院 脳神経学診療科
立花 克郎 理事	福岡大学医学部 解剖学教室

## 在り方委員会

### 在り方委員会の委員(2011.1～)新任・再任の承認

在り方委員会の構成

議長	豊田 章宏理事	(中国労災病院 リハビリテーション科)
編集委員長	高瀬 憲作理事	(徳島県立中央病院 脳神経外科)
資格認定委員長	塩貝 敏之理事	(京都武田病院 脳神経学診療科)
庶務会計監事	木村 和美理事	(川崎医科大学 脳卒中医学教室)
1.	市橋 光 理事	(自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科)
2.	内山真一郎理事	(東京女子医科大学 神経内科学)

## 本学会の会計について

法人化に向け、外部機関による会計監査(税理士等)の依頼  
竹内秀樹税理士事務所 担当:河内英久(取締役・監査部長)

※第29回JAN総会の会計を依頼している税理士事務所



## 資格認定委員会

以下、「認定脳神経超音波検査士制度規則」、「認定脳神経超音波検査士試験施行規則」、「実技試験施行細則」3つの改訂承認

### 認定脳神経超音波検査士制度規則の改訂

#### 第2章 脳神経超音波検査士の認定

(認定)

第5条 脳神経超音波検査士の認定は、筆記試験および実技試験(口頭試問を含む)により行い、本委員会で適否を判定することにより決定する。

#### **2. 実技試験は、筆記試験に合格した者についてのみ行う**

3. 筆記試験の出題範囲は、脳神経超音波検査に関する全般的な内容とする。その、詳細については、脳神経超音波検査士認定試験施行規則に定める。

4. 実技試験は、頸部超音波検査および経頭蓋超音波検査(transcranial Doppler 法を含む)とする。その、詳細については、脳神経超音波検査士認定試験施行規則と**実技試験施行細則**に定める。

(2008年4月25日制定)(2009年7月10日改訂)

### 認定脳神経超音波検査士試験施行規則の改訂

#### 第3条(筆記試験)

筆記試験は、本会総会の前後に行い、本委員会の委員が採点の上、合否判定委員会で決定し、**実技試験の前までに筆記試験の合格者を発表する。**

#### 第4条(実技試験)

**筆記試験の合格者に対して実技試験を実施する。**

#### **2. 実技試験は、本会総会の前後に実施する。**

(2008年7月1日制定)(2009年7月10日改訂)

### 実技試験施行細則 改訂

(実技試験の実施・評価項目)

第1条 実技試験は健康被検者を対象に、頸部超音波検査および経頭蓋超音波検査の実技を以下に挙げた項目について行い、2名の実技試験委員が個別に判定するものとする。

#### A. 頸部超音波検査

- 1) 総頸動脈から内頸動脈にかけて、短軸でスキャン。
- 2) 内頸動脈と外頸動脈を区別して、長軸で描出。(写真)
- 3) 総頸動脈長軸像にて、最厚部のIMT計測。(写真)
- 4) 総頸動脈の長軸像にて血流速度をドプラ法で計測。(写真)
- 5) 椎骨動脈を長軸像で描出し、横突起間で血流速度を計測。(写真)

#### B. 経頭蓋超音波検査

- 6) 側頭窓(ウィンドウ)からセクタ探触子(プローベ)で中脳を描出。
- 7) 中大脳動脈を描出し同定する。
- 8) 中大脳動脈の血流波形を角度補正して計測する。



## C. 全体評価

### 9) 検査時間

### 10) 被験者および探触子(プローベ)の扱い(被験者の感想を含む)

#### (判定基準)

第2条 各細項目の評価は3段階評価とし、2点、1点、0点を付与する。併せて計測全体の印象を5段階で評価する。

2. 判定基準は、資格認定委員会で定める実技試験判定基準(内規)に基づくものとする。

3. 実技試験の制限時間は全体で20分とする。

4. 実技試験の最終判定は、日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波検査士試験施行規則 第4条5, 6項の基準に基づき行う。ただし、実技試験の制限時間20分を超えたときはその時点で、失格とする。なお、試験の継続が困難な場合や、やむを得ない事由により制限時間を超えた場合は、実技試験委員長の判断とする。

5. 2人の実技試験委員の3段階評価をすべて合計し、その合計点によって、A:優(40~33点)、B:良(32~25点)、C:可(24~17点)、D:不可(16点以下、または0点の項目が3つ以上ある場合)と判定する。なお、実技試験委員は評価の際に総評として計測全体の印象評価を付記し、最終判定の参考にする。

#### (最終判定)

第3条 実技試験の合否は、合否判定委員会で判定し、資格認定委員会で了承の上、最終決定とする。

2. 最終判定には、指定した5項目の写真記録を判定資料として提出する。

3. 実技検査はビデオに記録し、合否判定の資料とすることができる。

(平成21年5月18日制定, 7月10日改訂)

## **第2回一般認定試験合格者承認**

32名の試験合格者を認定脳神経超音波検査士として認定、承認する

### **臨時理事会の決定事項報告**

#### **資格喪失について**

臨時理事会にて4年分以上未納の会員5名(医師5名)を、会則第9条-2)に基づき、資格喪失としました。なお、例年通りこの通知は総会およびHPでの公表のみとし、個人への通知は行いません。

### **編集委員会**

#### **「脳神経超音波マニュアル」CDの販売について**

実費(会員1,000円、非会員3,000円)で販売する。

PDFにパスワードによる保護をかけて購入者以外閲覧を制限した。印刷は可能とした。

※今回の学会にて先行販売を行い、18本完売

#### **新マニュアル本刊行について**

法人化などを踏まえて、当分の間、冊子体の新刊は発行しない。



### 今後の刊行事業について

神経超音波用語集作成(担当;矢坂正弘理事、永井秀政理事)

### Neurosonology 2009年度 優秀論文賞受賞者

斎藤こずえ 先生 奈良県立医科大学 神経内科 (※現所属、国立循環器病研究センター)

「ソナゾイド造影頸動脈超音波検査による頸動脈プラーク内新生血管観察」

斎藤こずえ 1) 平井都始子 2) 大石 元 2) 上野 聡 1)

1) 奈良県立医科大学 神経内科 2) 同中央内視鏡・超音波部

Neurosonology 21- 3, 2008

### 法人化委員会

#### 法人化委員会の委員(2010.7～)の承認

法人化委員会の構成

委員長	松本 昌泰 理事	(広島大学)
委員	豊田 章宏 理事	(中国労災病院)
	岡田 靖 理事(新)	(九州医療センター)
	藤本 茂 評議員	(新日鐵八幡記念病院)
	古賀 政利 評議員	(国立循環器病研究センター)
	井口 保之 評議員	(川崎医科大学)